

身近な情報は身近でつくる。がんを知ろう。そしてがんと共に生きよう。



愛 GIVER project

～社会で支えるがんとの暮らし～

がんに関する正しい情報を伝え、患者や周囲の方々が笑顔で暮らし続けられる社会を目指す愛媛新聞社の「愛ギバープロジェクト」が、2021年度も始まります。

がんは日本人の**2人に1人がかかる病気**ですが、理解や支援が十分とはいえません。決して人ごとではない問題、みんなで少しずつ前進しましょう。



●紙面やWebを通じた情報発信

治療と仕事の両立支援などをテーマにした記事、がんサポート団体の取り組みや最新治療などを紙面で掲載します。がんに関するイベントや講演会の採録も紹介する予定です。それらの情報はホームページでも発信します。イベント告知や関連記事など、県内のがん関連情報を随時更新するほか、Web限定記事も展開しています。



●がん講演会の開催

新型コロナウイルス感染の状況を考慮し、できる限りの予防策を取った上で、がん講演会を開く予定です。最新情報を学んだり、患者や家族の方々、医療従事者が交流したりする機会にします。

●募金活用事業

医療機関やイベント会場に募金箱を設置し、寄付を呼び掛けています。2020年度は総額34万9668円が集まりました。ありがとうございました。スポンサー企業からの協賛金の一部なども合わせ、協力団体とつくる募金活用選定委員会で、患者やその家族へのサポートにつながる使い方を話し合っています。2019年度の募金を活用し、2020年12月に開いたオンライン講演会については、下記にご報告します。



【募金箱設置ご協力お願い】

愛 GIVER project 活動にご賛同を頂いた企業さまや支援者さまに、募金箱設置のご協力をお願いしております。詳細は愛媛新聞社営業開発部 愛ギバープロジェクト係089-935-2313まで。

詳しくはホームページへ

愛GIVER 検索



<https://www.ehime-np.co.jp/online/life/cancer/>

※このプロジェクトの発案者は、愛媛新聞社の社員だった岡本拓磨さんです。2011年入社、営業部門で活躍していましたが、16年秋に胃などのがんが見つかります。治療しながらも仕事を続け、「自分のような立場の人も仕事を続けられる社会をつくりたい」という思いから、プロジェクトを立ち上げました。18年、30歳の若さで亡くなりましたが、これから彼の遺志を引き継ぎ推進していきます。

〈広告〉企画・制作／愛媛新聞社営業局

2020年度募金活用事業「オンライン講演会」～がんと新型コロナウイルス～



「がんと新型コロナウイルス」をテーマに、四国がんセンター・濱田信先生、愛媛大学医学部附属病院・田内久道先生、国立がん研究センター・若尾文彦先生の3人の講師を迎え、オンライン講演会を開きました。がん治療に関して先生方は「自身の病態についてがん専門医師と相談し、適切に対応することが大切」「信頼できる情報源を活用し、自己判断せず医療機関に相談してほしい」とアドバイスし、コロナの感染防止については飛沫・接触感染を防ぐためマスク着用や手指消毒の重要性を呼び掛けました。講演会には県内外の約1000人が視聴し、コロナ下のがん診療や感染予防策などについて理解を深めました。

【協賛】



四国紙販売株式会社

【協力団体】協力／愛媛県議会がん対策推進議員連盟、NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会、一般社団法人がんサポーターズ、認定NPO法人ラ・ファミエ 監修・協力／独立行政法人国立病院機構 四国がんセンター